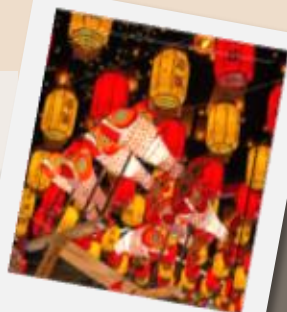


世界中にどんなお祭りがありますか？



中国

中国の元宵節（げんしょうせつ）は、とってものにぎやかで楽しいお祭りです。旧暦の1月15日の夜、町中が灯籠（とうろう）の光でキラキラと輝きます。色とりどりで大きく、さまざまな形の灯籠が飾られており、とても美しいです。子どもたちは自分の灯籠を持って、家族と一緒に町中の灯籠を見に行きます。いろいろな形の灯籠があって、うさぎや魚の形をしたものもあります。見ているだけでワクワクします。広場では「灯謎（とうなぞ）」というなぞなぞ大会が開かれます。灯籠に書かれたなぞを解くと、賞品がもらえます。みんな真剣に考えて、当たると大喜びです。家に帰ると、家族そろって「元宵（げんしょう）」を食べます。中に胡麻やピーナッツが入っていて、とても甘くておいしいです。夜空には花火が上がり、光と音でお祭りの夜を彩ります。元宵節は、笑顔と光でいっぱいの、心あたたまる中国の伝統的なお祭りです。



ベトナム

ベトナムの「中秋節（ちゅうしゅうせつ）」は、旧暦の8月15日に行われ、子どもたちが一年でいちばん楽しみにしているお祭りです。この日は一年で月がいちばん丸くきれいに見えるため、「満月のお祝い」とも呼ばれています。中秋節の夜になると、町にはカラフルなランタンが飾られ、子どもたちも星型や動物の形をしたランタンを持って、にぎやかに町を歩き回ります。そして、中秋節といえばやっぱり月餅（げっぺい）です。中には卵黄、蓮の実、緑豆などが入っていて、家族や友達にプレゼントする習慣があります。また、昔から中秋節は「家族が集まる日」とされ、みんなで月を見ながらお菓子を食べ、楽しくおしゃべりをします。ベトナムの中秋節は、子どもたちの笑い声と美しい満月があふれる、心あたたまるすてきなお祭りです。





オーストラリア

オーストラリアでは、日本のような「祭り」はあまり多くありませんが、その代わりにさまざまな楽しいイベントが行われています。

シドニーの大晦日の花火大会は、世界的にも有名で、シドニー・ハーバーで行われます。ハーバーブリッジやオペラハウスを背景に上がる花火はとてもきれいで、毎年たくさんの人が集まり、新年の始まりをにぎやかに祝います。

また、メルボルンのAFLグラウンド・ファイナルは、オーストラリアンフットボールの優勝チームを決める大きな試合です。試合当日は街がにぎやかになり、家族や友人と集まって応援するので、お祭りのような楽しい雰囲気になります。



ブラジル

ブラジルのカーニバルは毎年2月に開催される、世界的に有名なお祭りです。キリスト教の「四旬節（レント）」が始まる前に行われる祝祭で、肉食や娯楽を控える期間に入る前の「最後の大パーティー」という意味があります。ブラジルでは、これが国最大級の文化イベントに発展し、世界に知られる一大フェスティバルになりました。リオデジャネイロとサンパウロでは公式なパレードが行われ、サンバと豪華な衣装が魅力的で、圧倒されるほどの美しさと迫力があります。パレードには数々のサンバチームが参加し、それぞれが選んだテーマに沿って山車や衣装を作り、その出来栄を競い合います。それ以外にも、各市町では路上パーティーが開かれ、人々が仮装をしながら音楽や踊りを楽しんでいます。



ご意見募集中！

あなたの声が、次回のニュースレターで紹介されるかもしれません。お気軽にご参加ください。